

# いほう



2022年(令和4年)12月1日 第9号

## 〈福山市めざす子ども像〉

福山に愛着と誇りをもち、変化の激しい社会をたくましく生きる子ども

## 〈松永中学校区めざす子ども像〉

自己を認識し、自分の人生を選択し、表現することができる力を身につけた子ども

「こころ」は誰にも見えないけれど、「こころづかい」は見える  
「思い」は見えないけれど、「思いやり」は誰でも見える

12月、いよいよ今年最後の月になりました。

さて、12月10日は「人権デー」です。これは、1948年12月10日の国連総会で「世界人権宣言」が採択され、国連はこれを記念して12月10日を「人権デー」としたそうです。日本では、毎年12月4日から12月10日までの1週間を「人権週間」としています。

この人権デーは、「すべての人は大切にされなければならない。すべての人が大切にされなければならない、このことをみんなで考える日」として、人権週間が設定されたものです。

12月6日(火)の朝会では、子どもたちに、人権デーのこと、自分と友だちの心と体を大切にすることについて話そうと思っています。続けて、「こころ」についてともに考えていきたいと思っています。

**「こころ」は誰にも見えないけれど、「こころづかい」は見える 「思い」は見えないけれど、  
「思いやり」は誰でも見える**

宮澤章二「行為の意味」という題の詩です。今から紹介するのは、その中にある一節です。

**あなたの「こころ」はどんな形ですか?/と聞かれても答えようがない。自分にも他人にも  
「こころ」は見えないけれど、/ほんとうに見えないのだろうか。確かに「こころ」は誰にも見えない。  
/けれど「こころづかい」は見えるのだ。それは人に対する積極的な行為だから。同じように胸の中の「思い」は見えない。  
/けれど、「思いやり」は誰にも見える。それも人に対する積極的な行為なのだから。  
あたたかい心があたたかい行為になり、/やさしい思いがやさしい行為になるとき、  
「心」も「思い」も初めて美しく生きる。それが人として生きることだ。**

みなさんの心の中にはあたたかで純粋な思いやりの心がありますが、それはいつも見えている心ではありません。しかし、たった一言の言葉かけで心づかいが見えることがあります。言葉かけることが苦手な人は、ほほ笑みかけるだけでも思いやりは伝わります。そっと手を貸す、黙ってそばにいてあげる…。小さな行為ですが、あたたかな心づかいが伝わる姿です。

**「こころ」は誰にも見えないけれど、「こころづかい」は見える 「思い」は見えないけれど、  
「思いやり」は誰でも見える**

この言葉を皆さんに伝えたいと思います。とても短い言葉ですが、全員がこの言葉を大切にし、実行することができたら、柳津小学校の皆さんは、みんな大切にされる、大切にされていることを感じる、そして、柳津小学校に通う毎日がますます大好きになると思います。

子どもたちだけでなく、私たち教職員もこの言葉を大切に教育活動を行っていきます。(文責 校長)

## 校内マラソン大会のご声援 ありがとうございます

11月18日に、校内マラソン大会を行いました。朝のかけ足タイムや体育の授業で持久走については練習をしてきました。その練習の成果を発揮してどの子も自己ベストを出せるように一生懸命走りました。グラウンドや走るコース沿いでは、多くの保護者の方、地域の方が声援を送ってくださいました。ありがとうございました。



## 胴鉦踊り・神楽の発表会がありました

11月29日に、胴鉦踊り・神楽の発表会を行いました。柳津の地域に伝わる胴鉦踊り・神楽の練習は、今年も多くの地域のボランティアのみなさんのご協力のもと、6年生が9月から続けてきました。6年生には、胴鉦踊り・神楽の動きや言葉を覚えるということだけではなく、柳津の地で長年受け継がれてきた地域の方々の思いを感じ、そして将来は柳津のそれぞれの地区で、受け継いでいく立場に育ってほしいと思います。



## 2学期いじめ・体罰アンケートについて

2学期も、いじめと体罰について、児童と保護者にアンケート調査を行いました。友達との関係で嫌な思いをした経験について正直に書いてくれた児童もいました。児童と保護者からのアンケート結果をふまえて、全ての児童に対して担任が個人面談を行いました。子どもたちが同じような嫌な思いをしないように解決に向けて話し合いをしています。

子どもたちにも伝えていますが、「しんどいこと」や「いやなこと」は我慢しないで相談してください。また、柳津小学校では毎月第3火曜日を「こころの相談日」としています。担任でなくてもかまいません。何かあったら担任の先生でもいいし、他の先生でもいい。どの先生もしっかり寄り添っていこうと思っておりますので、相談するようにお子様にお話してください。